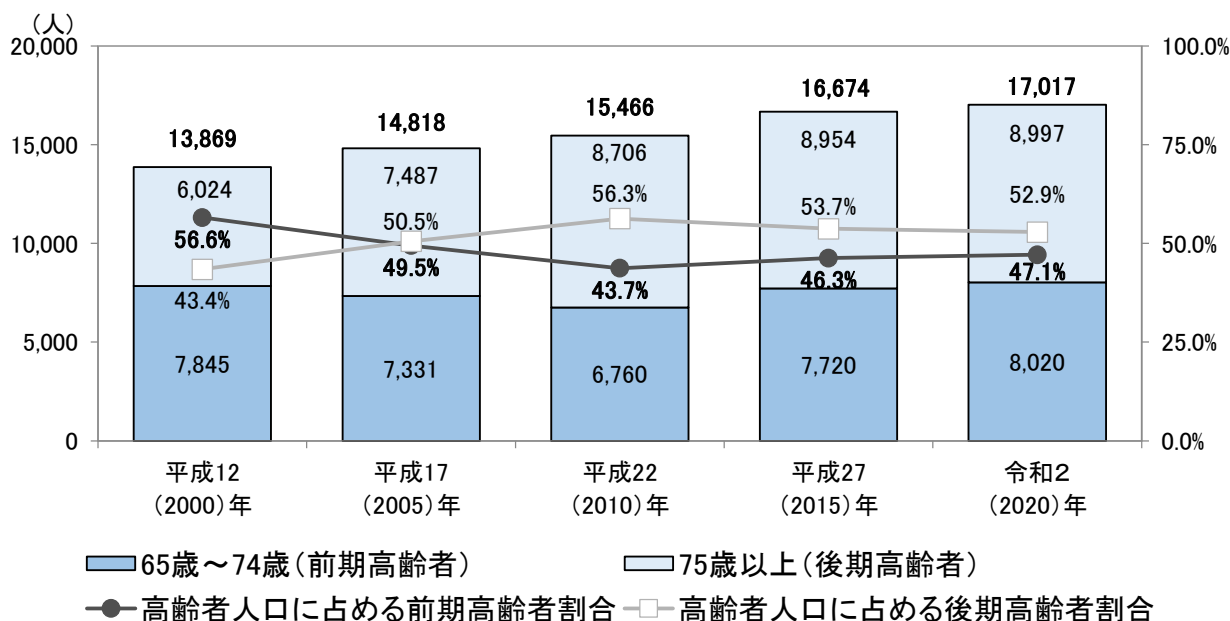
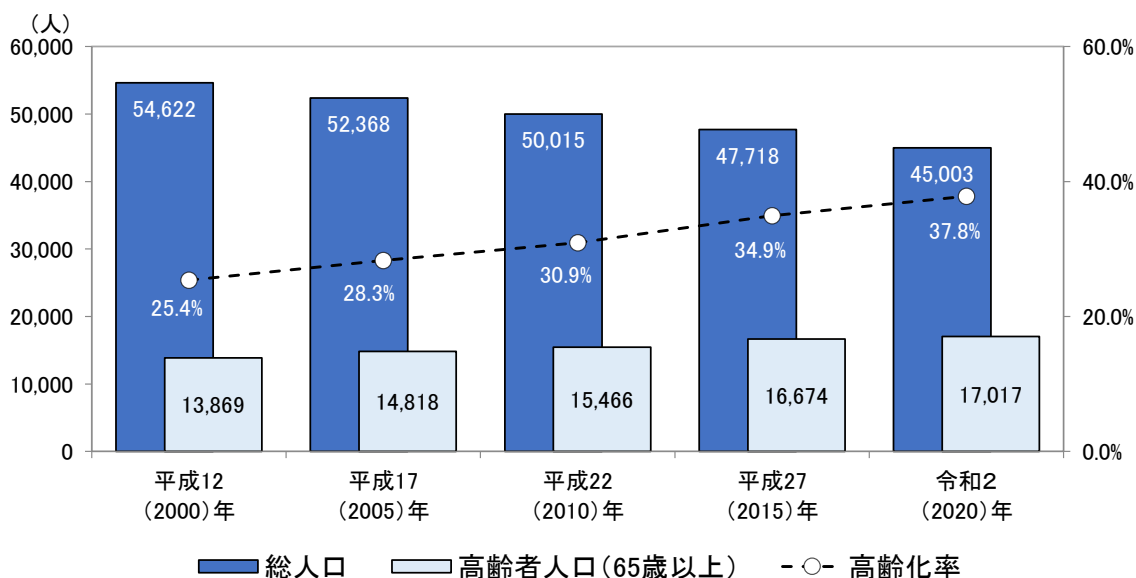


I. 益田市の高齢者を取り巻く現状

1. 人口・世帯数

益田市の総人口は、一貫して減少傾向にある一方、高齢者人口は増加しており、令和2年（2020年）時点の高齢化率は37.8%となっています。

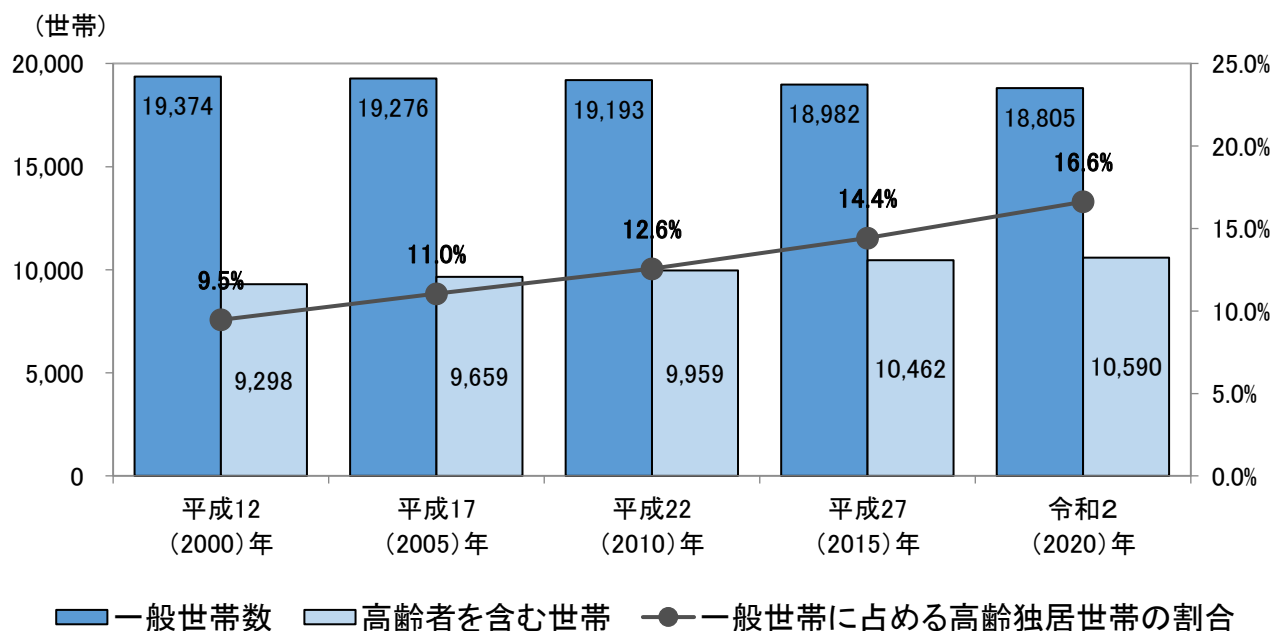
また、高齢者人口に占める前期高齢者と後期高齢者の割合をみると、平成17（2005）年以降は後期高齢者が前期高齢者を上回っています。



【出典】地域包括ケア「見える化」システム

2. 世帯数の推移

一般世帯数は減少傾向にある一方、高齢者を含む世帯は増加しており、令和2年(2020年)時点の一般世帯に占める高齢独居世帯の割合は16.6%となっています。



	平成12 (2000)年	平成17 (2005)年	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	令和2 (2020)年
一般世帯数	19,374	19,276	19,193	18,982	18,805
高齢者を含む世帯	9,298	9,659	9,959	10,462	10,590
高齢独居世帯	1,833	2,129	2,410	2,737	3,126
高齢夫婦世帯	1,943	2,190	2,387	2,660	2,810
一般世帯に占める高齢独居世帯の割合	9.5%	11.0%	12.6%	14.4%	16.6%

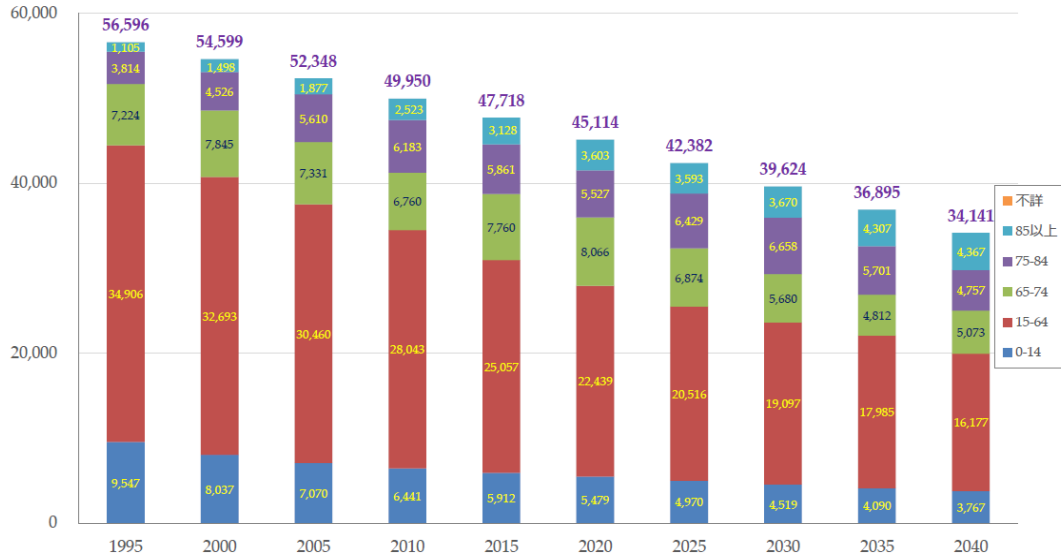
【出典】地域包括ケア「見える化」システム

3 益田市の高齢者人口の推移等について

(1) 人口の推移及び将来推計 (1995~2040年間)

- 総人口は1995年以降、年々減少していく。
- 85歳以上人口は、1995年の1,105人が年々増加し、2040年に4,367人まで増加していく。

図表1-1. 人口の推移及び将来推計



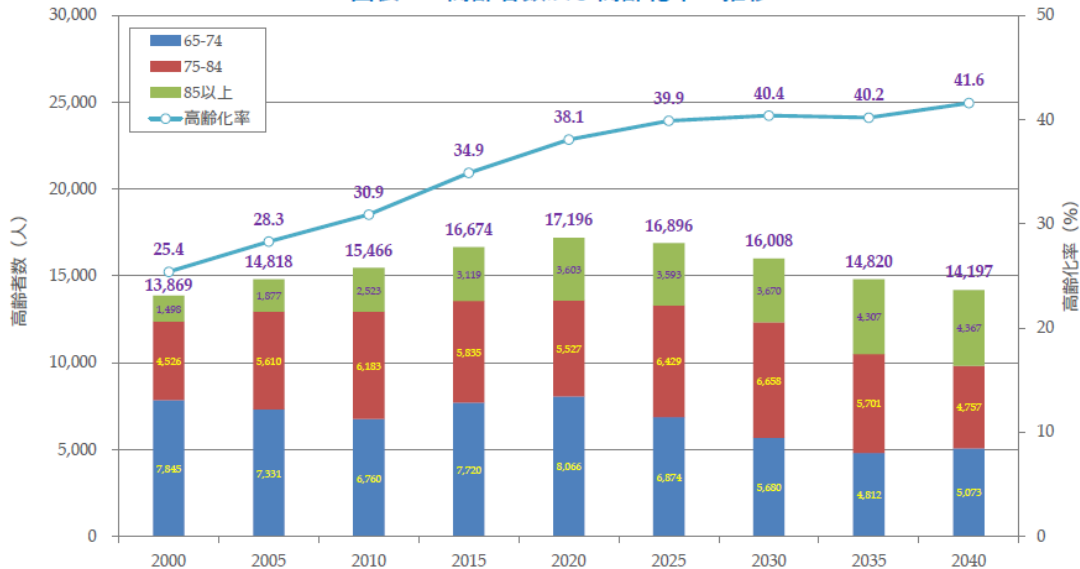
出所) 総務省：国勢調査，国立社会保障・人口問題研究所：日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）より作成。島根県提供データ。

1

(2) 年齢階級別にみた高齢者数及び高齢化率の推移

- 65歳以上の高齢者数は、2020年がピークで、その後は減少する。
- 2000年以降は総人口は減少する一方で、高齢者数は増加するため、高齢化率は上昇し、2000年の25.4%が2040年には41.6%まで上昇していく。

図表2-1. 高齢者数及び高齢化率の推移



出所) 厚生労働省：地域包括ケア「見える化」システムより作成。島根県提供データ。

4